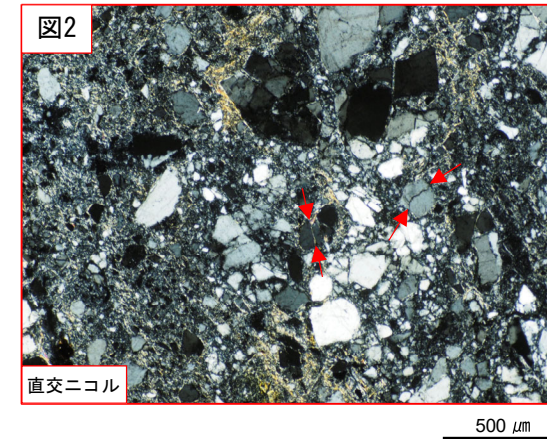
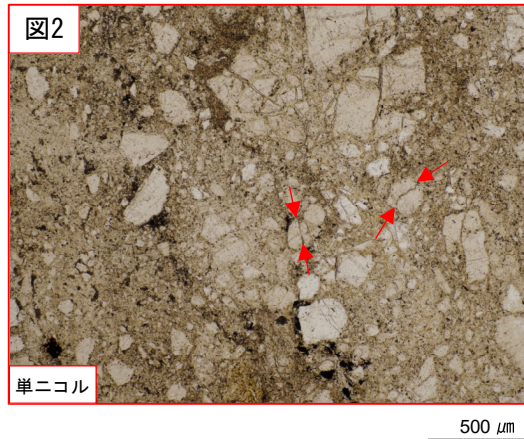
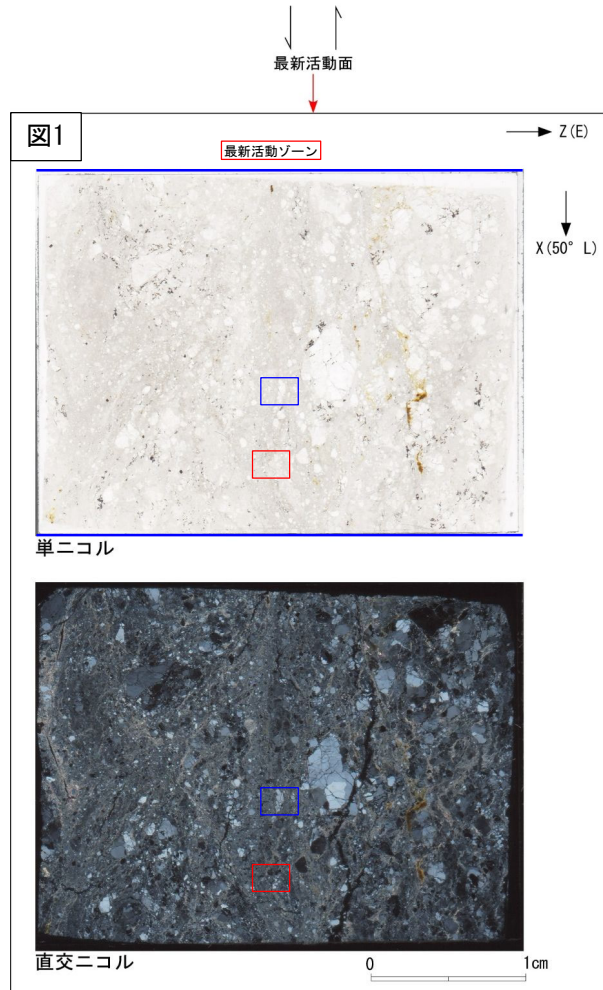
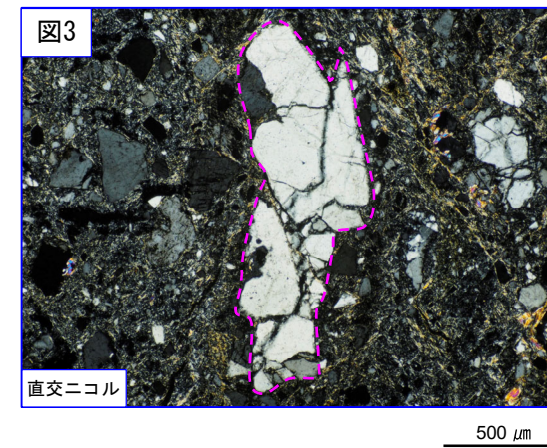
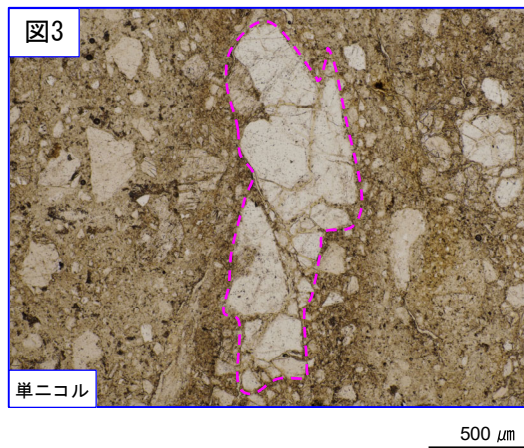


H27-B-2 深度35.92~35.95m 非モデル化破碎部 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図2, 3)
- 組織は漸移的に変化する。(図1)
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2, 3)
- 角ばった岩片が多い。(図2, 3)
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図2)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図3)



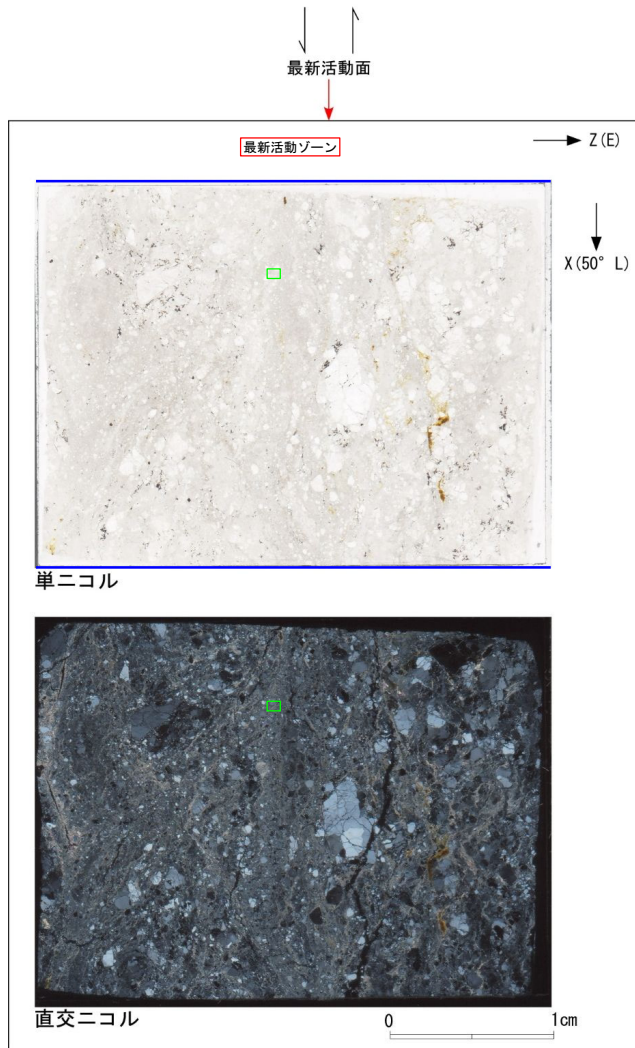
赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。



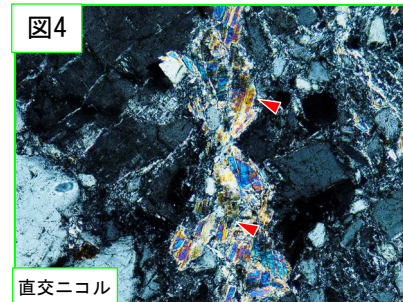
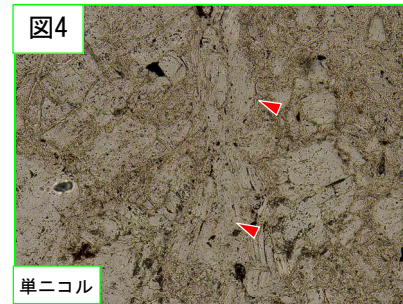
破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。

H27-B-2 深度35.92~35.95m 非モデル化破碎部 (3/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図4)



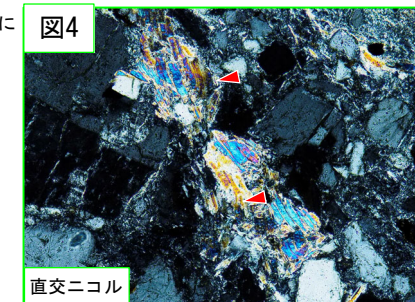
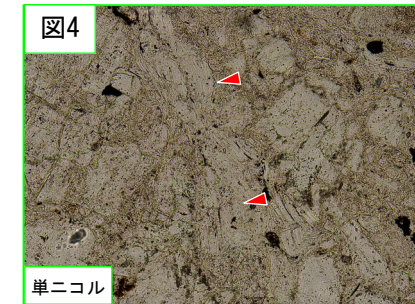
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



赤矢印は屈曲箇所を示す。 50 μm

→

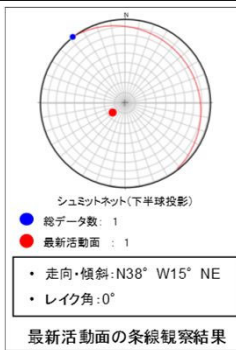
ステージを反時計回りに
約25度回転



赤矢印は屈曲箇所を示す。 50 μm

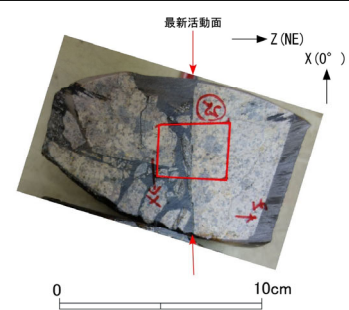
H27-B-2 深度48.08~48.12m 非モデル化破碎部 (1/3)

- ・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度48.12m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。
- ・断層岩区分については、カタクレーサイトの左端は全体的に不透明鉱物に汚染されており、状況を判断できないものの、全景写真上端のカタクレーサイトの左端には、粘土鉱物を伴う部分が残っていることから、断層ガウジと判断した。(第833回 机上配布資料1)
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 - 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。
 - 岩片の粒径は漸移的に変化する。
 - 多様な粒径の岩片が多く認められる。
 - 角ばった岩片が多い。

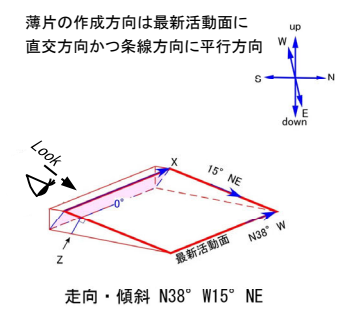


このゾーンは当初断層ガウジと判断していたが、上記に示す通りカタクレーサイトと判断した。

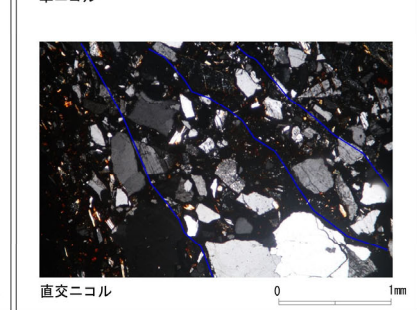
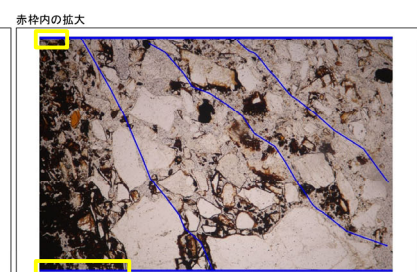
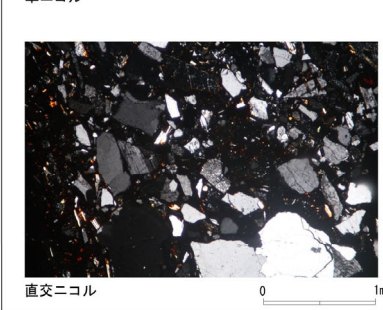
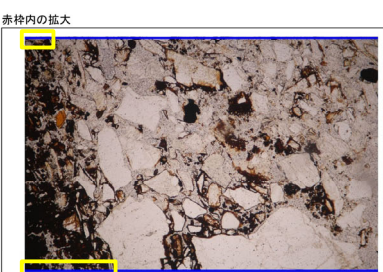
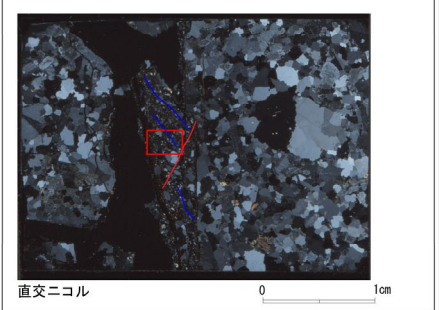
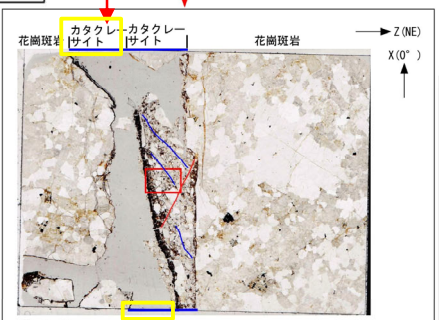
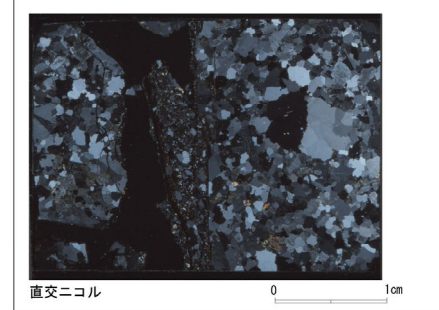
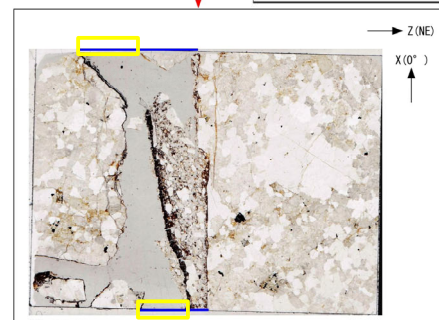
最新活動ゾーン



※切断面に記載されているX方向は誤り
ブロックサンプル



X: 条線方向(北向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上側を正とする)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

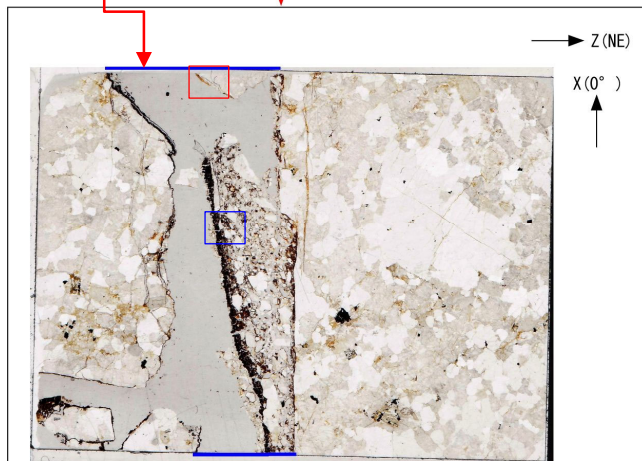
H27-B-2 深度48.08~48.12m 非モデル化破碎部(2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1)
- 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。(図1)
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
- 角ばった岩片が多い。(図2)

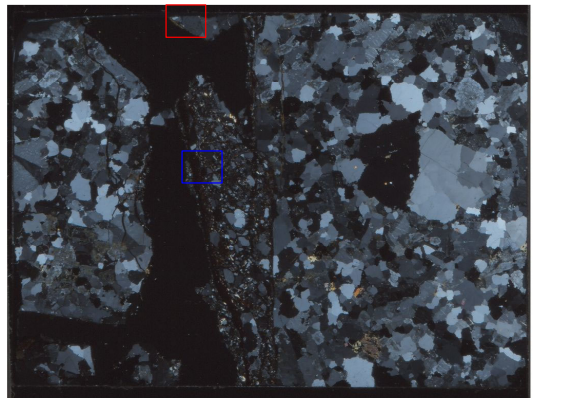
このゾーンは当初断層ガウジと判断していたが、上記に示す通りカタクレーサイトと判断した。

最新活動ゾーン

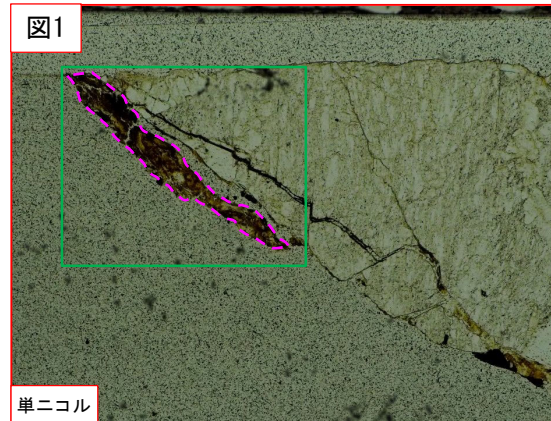
↑ ↓
最新活動面



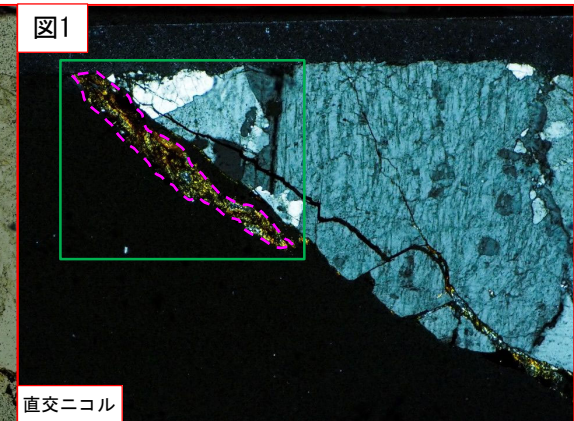
単ニコル



直交ニコル

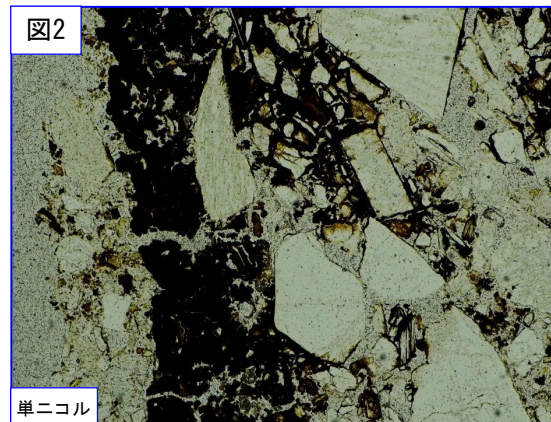


単ニコル

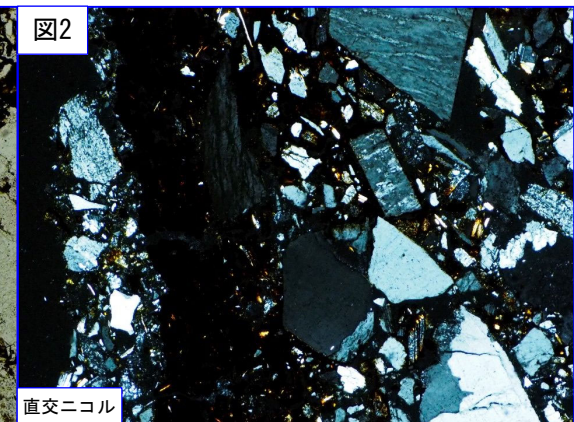


直交ニコル

破線は粘土状部の分布範囲を示す。



単ニコル

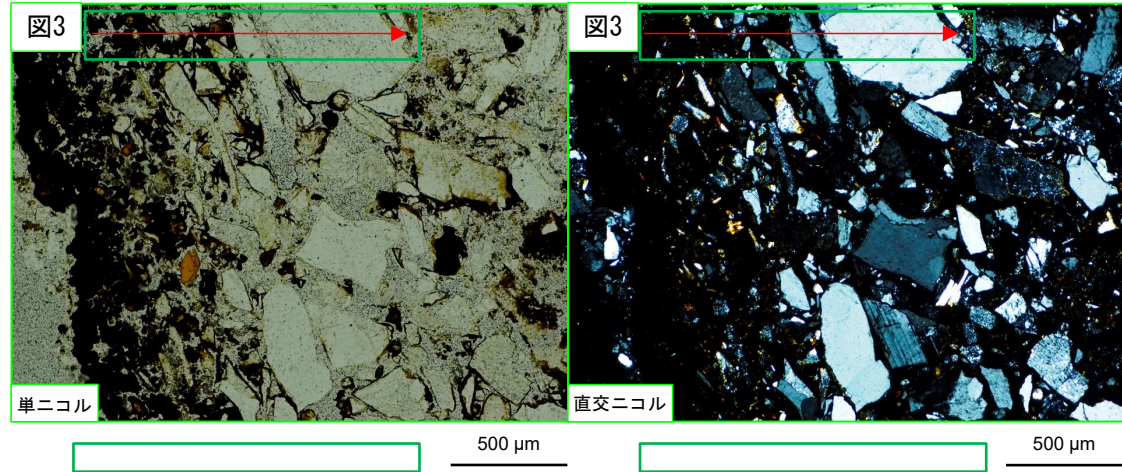
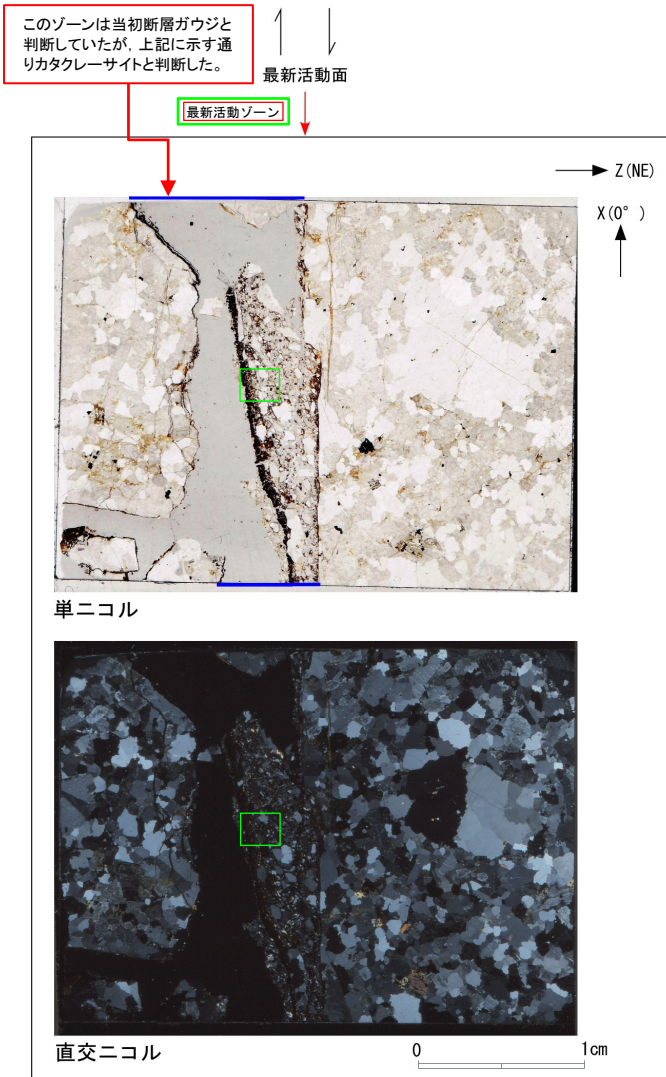


直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

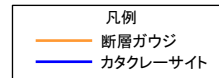
H27-B-2 深度48.08~48.12m 非モデル化破碎部(3/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒径は漸移的に変化する。(図3)



赤矢印: 岩片の粒径が漸移的に大きくなる。

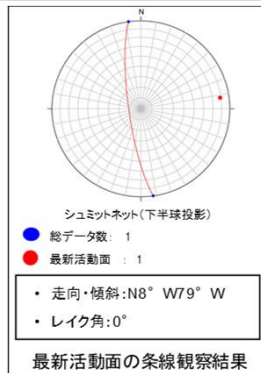
赤矢印: 岩片の粒径が漸移的に大きくなる。



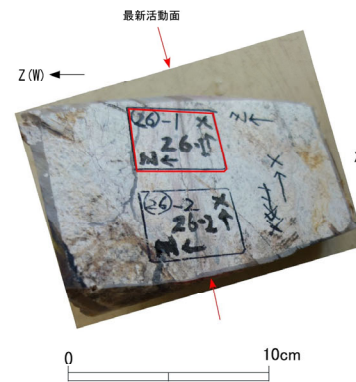
H27-B-2 深度54.72~54.77m 非モデル化破砕部 (1/3)

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度54.77m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。

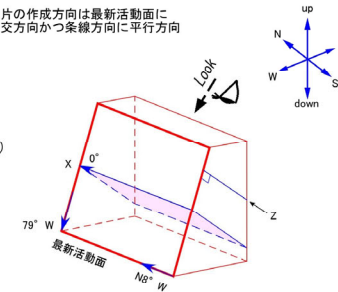
- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 角ばった岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
- シグソー状の角礫群が認められる。



最新活動ゾーン

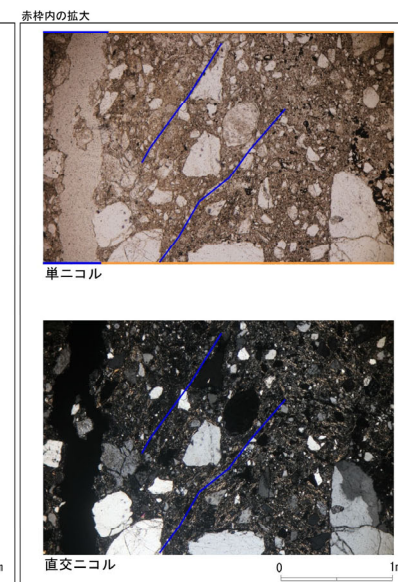
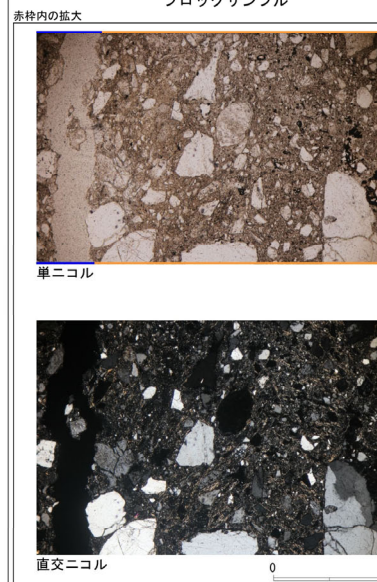
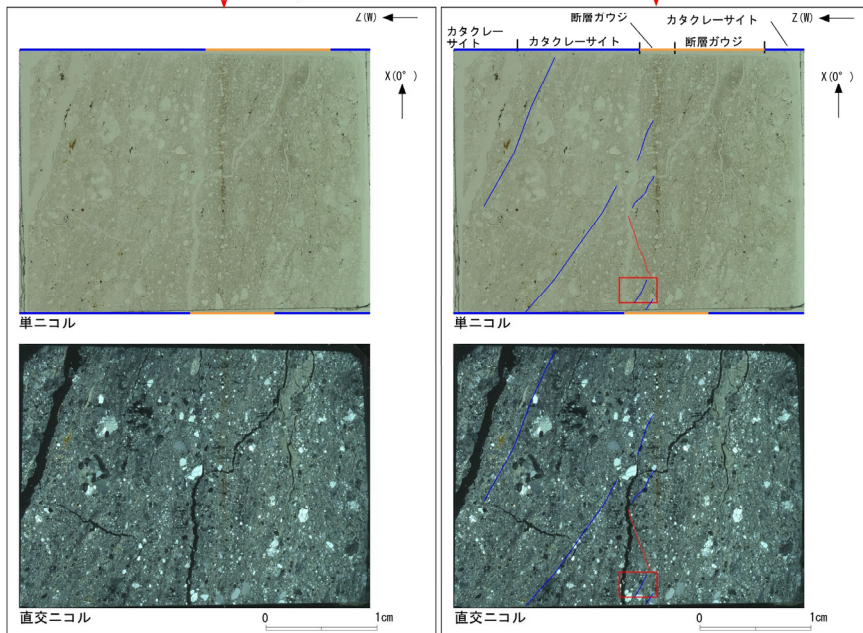


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N8° W 79° W

X: 条線方向 (北向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向 (上盤側を正とする)

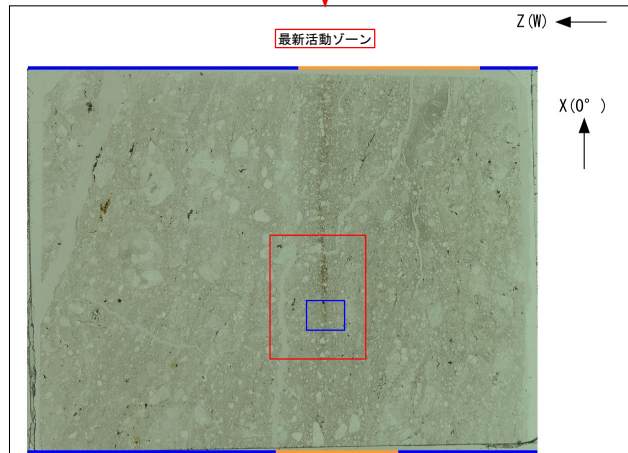


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

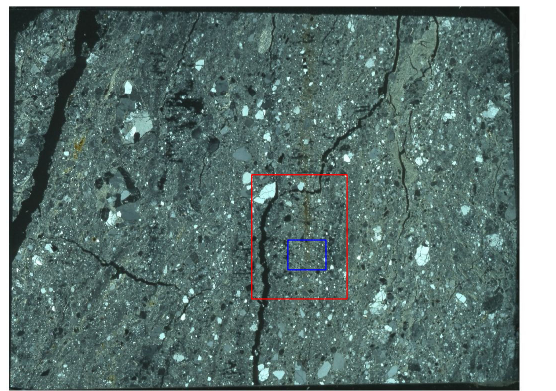
H27-B-2 深度54.72~54.77m 非モデル化破碎部 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 角ばった岩片が多い。(図2)

最新活動面

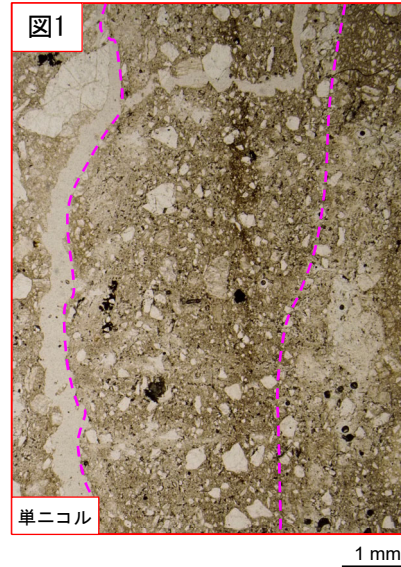


単ニコル

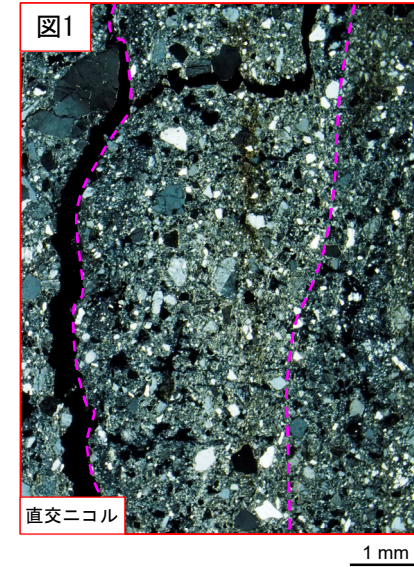


直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

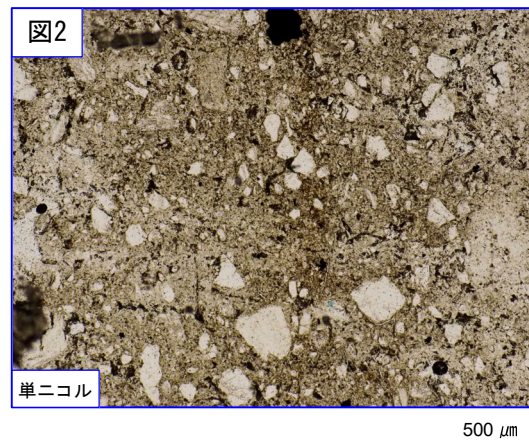


単ニコル

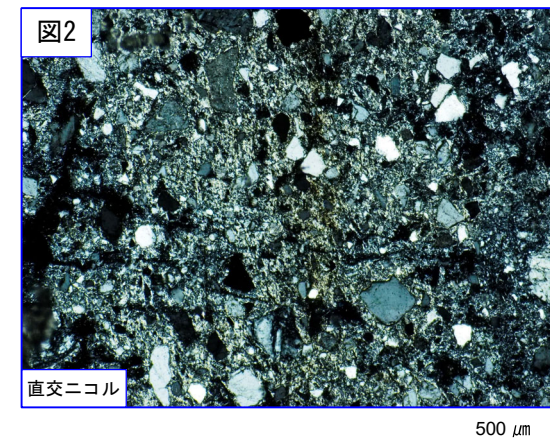


直交ニコル

破線は帯状で直線的な範囲を示す。



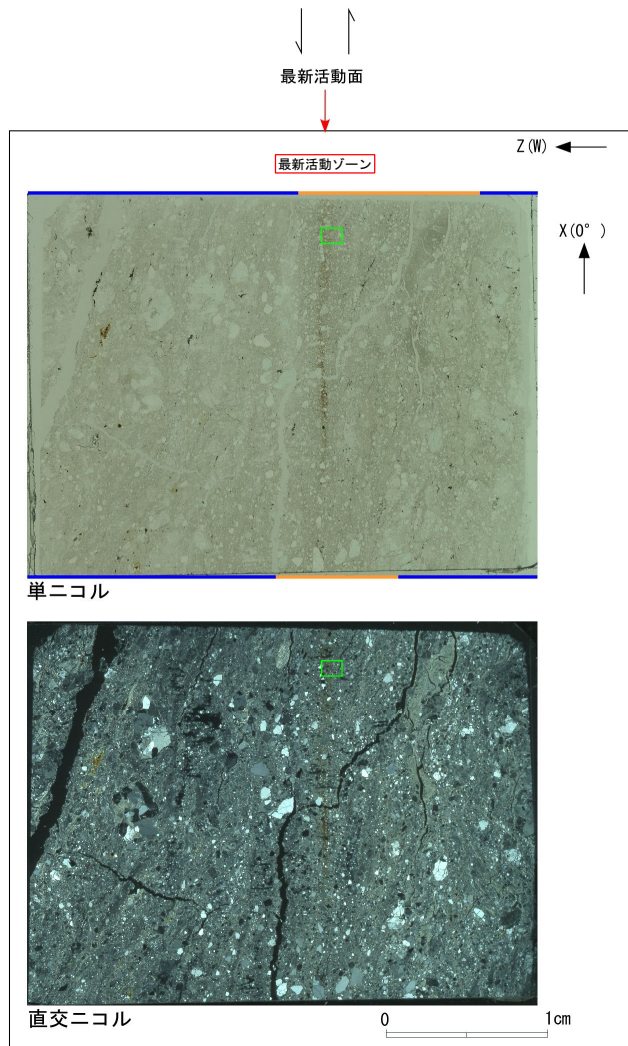
単ニコル



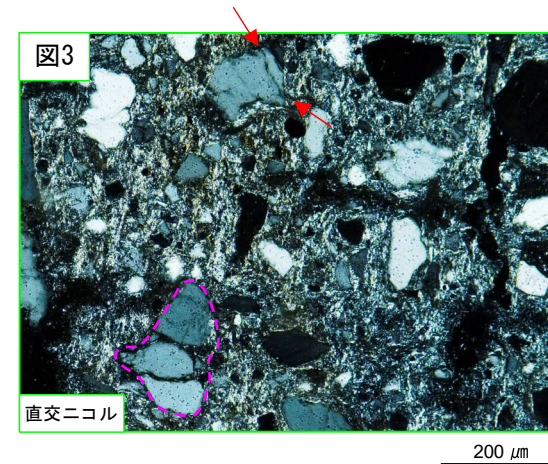
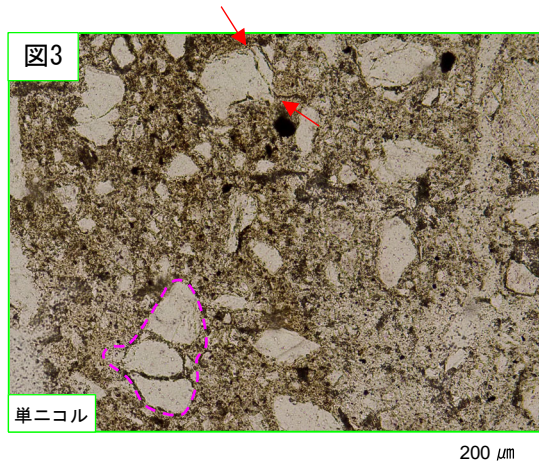
直交ニコル

H27-B-2 深度54.72~54.77m 非モデル化破碎部 (3/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図3)



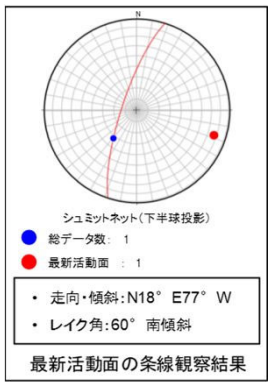
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



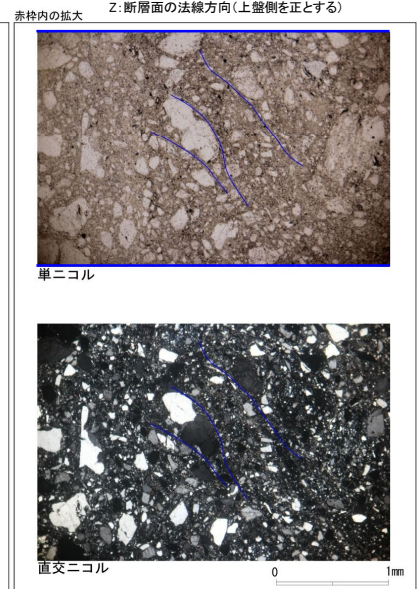
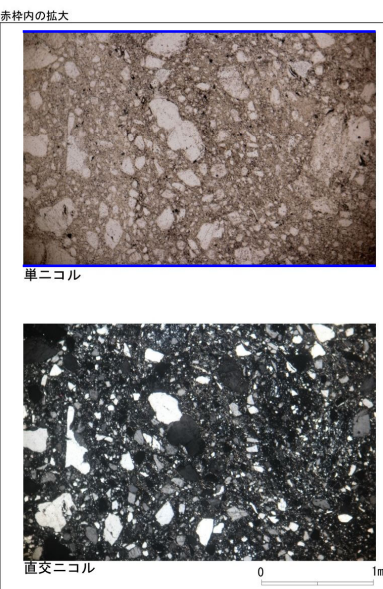
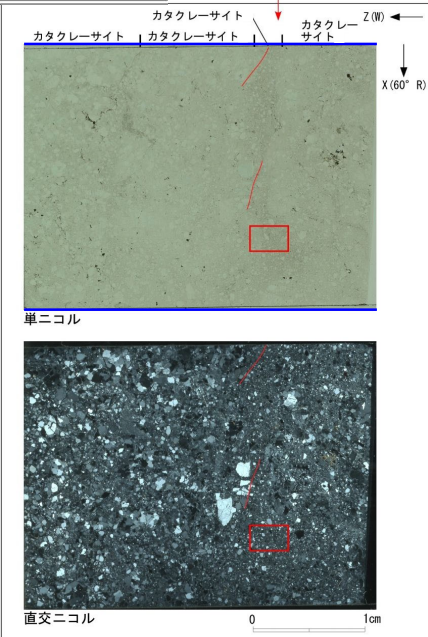
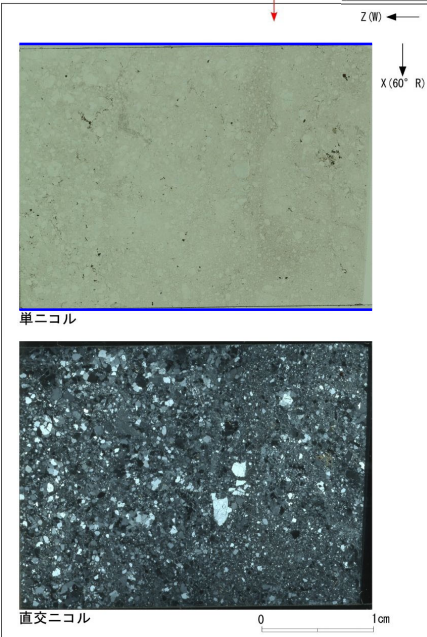
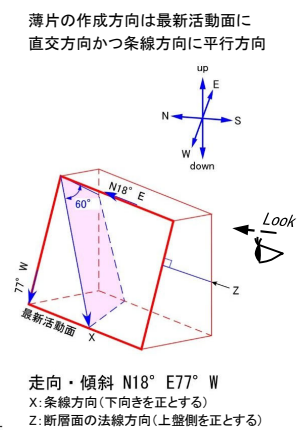
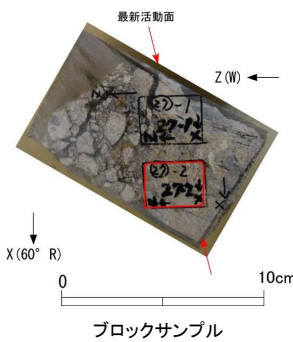
破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。
赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。

H27-B-2 深度60.26~60.69m 非モデル化破碎部 (1/3)

- ・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度60.58m)の変位センスは、右ずれを伴う逆断層である。
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- シグソー状の角礫群が認められる。
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



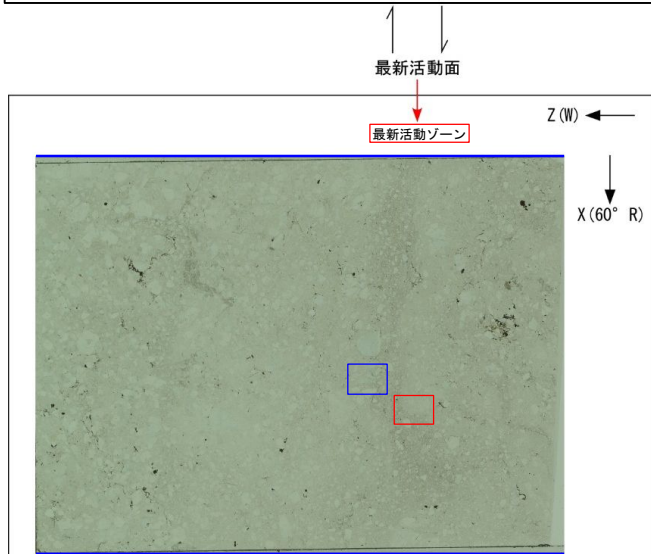
最新活動ゾーン



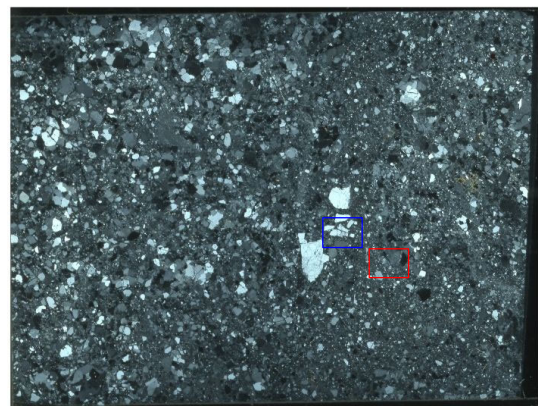
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度60.26~60.69m 非モデル化破碎部 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1)
- 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。(図1)
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
- 角ばった岩片が多い。(図2)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)

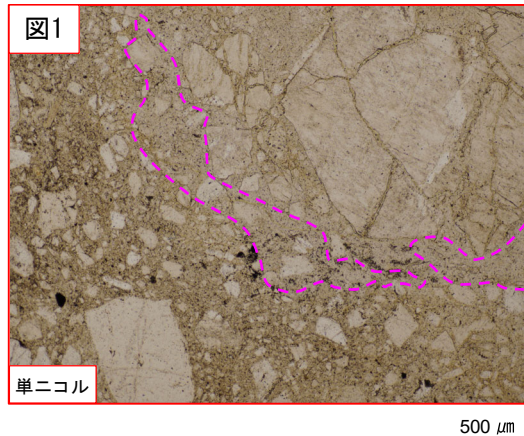


単ニコル

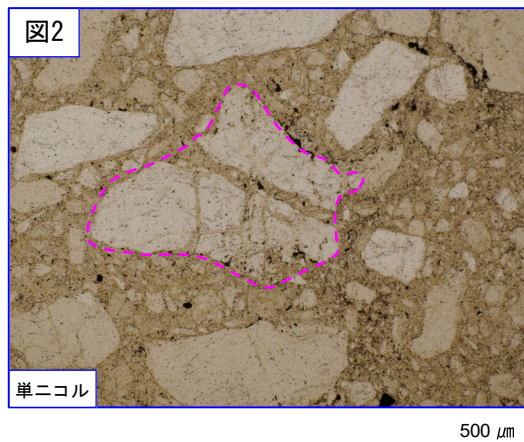


直交ニコル

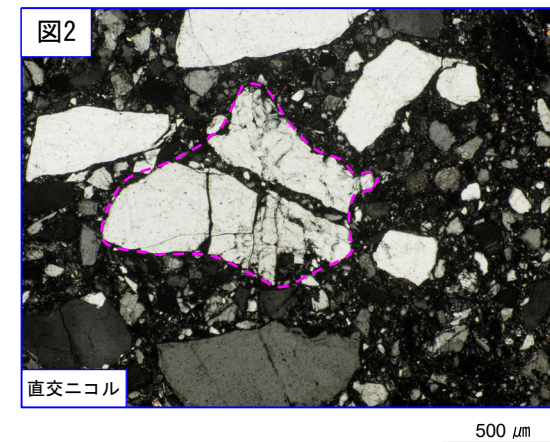
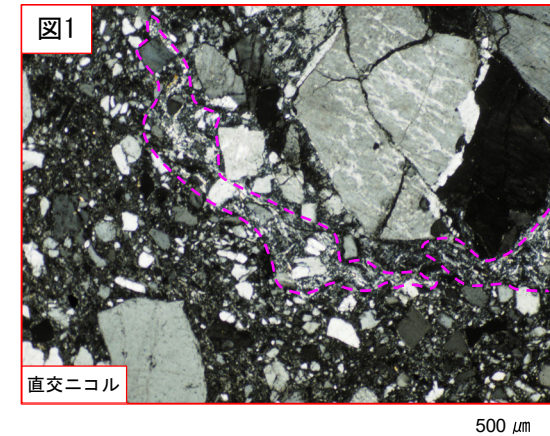
凡例
— 断層ガウジ
— カタクレーサイト



破線は粘土状部の分布範囲を示す。

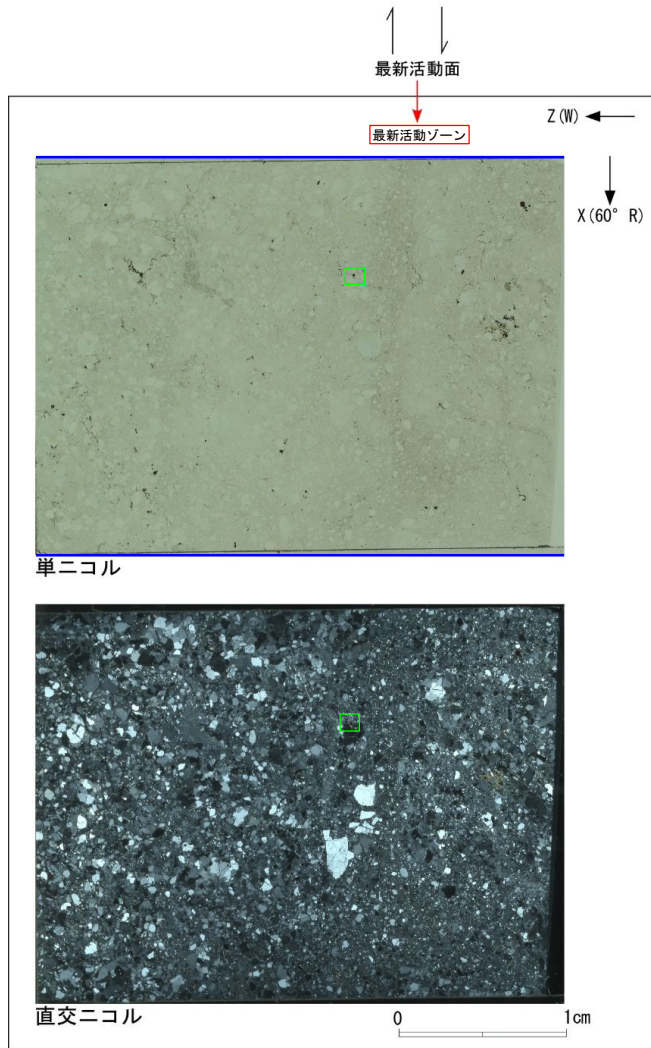


破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。

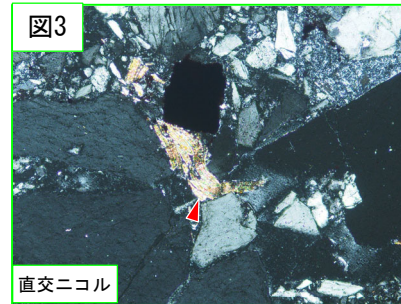
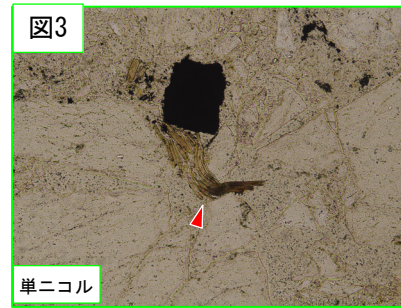


H27-B-2 深度60.26~60.69m 非モデル化破碎部 (3/3)

・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 > 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図3)



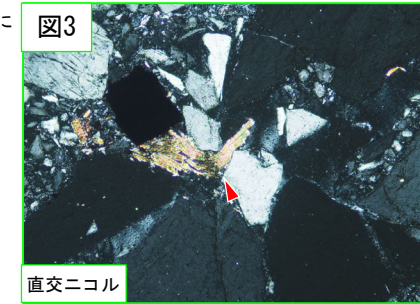
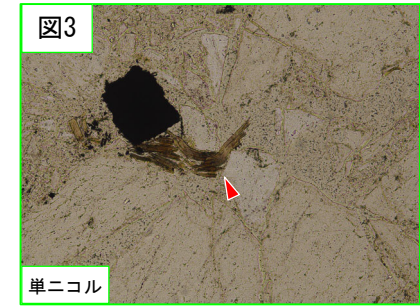
凡例
 断層ガウジ
 カタクレーサイト



赤矢印は屈曲箇所を示す。 200 μm



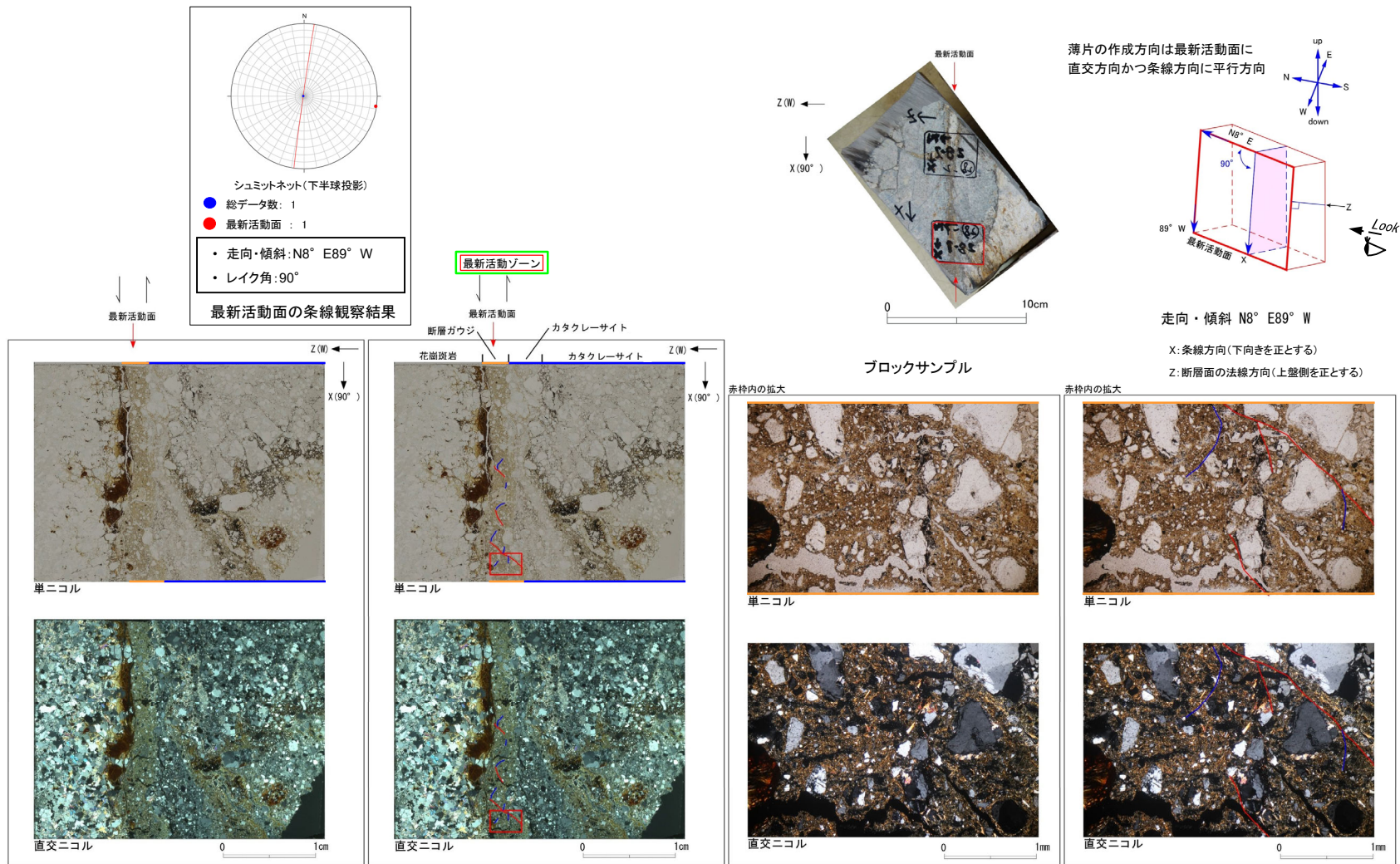
ステージを反時計回りに約45度回転



赤矢印は屈曲箇所を示す。 200 μm

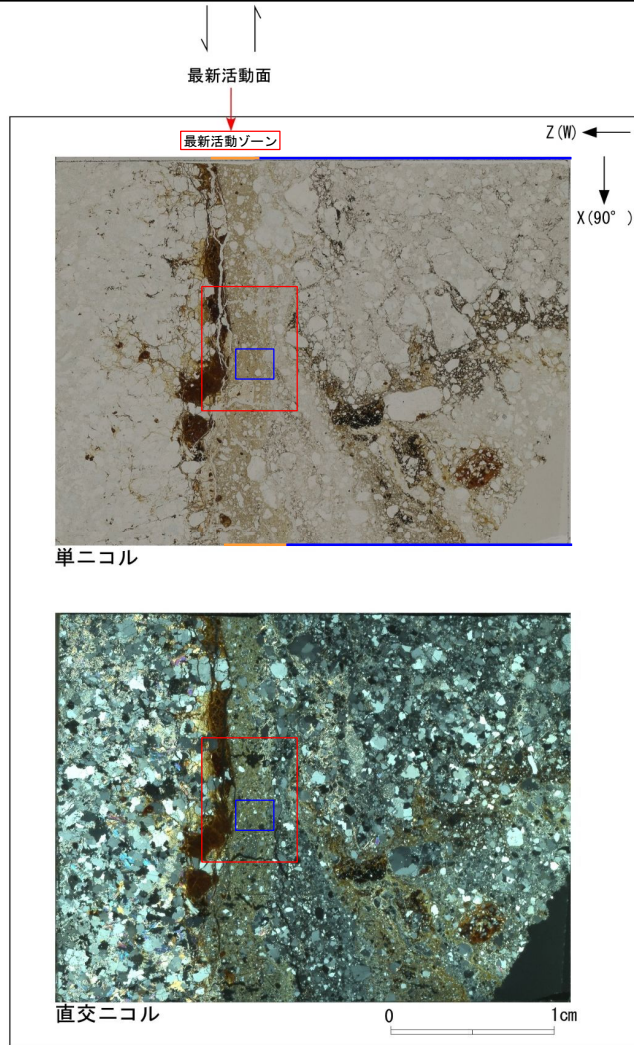
H27-B-2 深度61.29~61.69m D-1破碎帯 (1/2)

- ・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度61.43m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 丸みを帯びている岩片が多い。

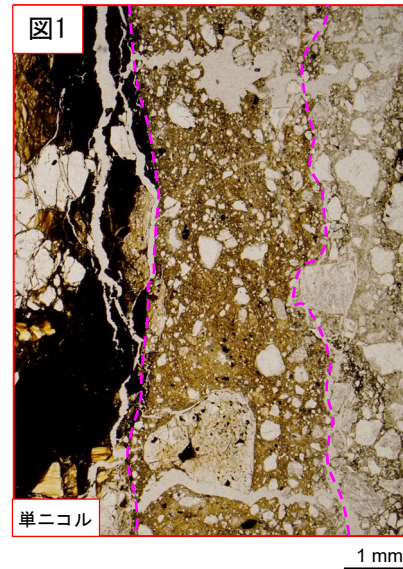


H27-B-2 深度61.29~61.69m D-1破碎帯 (2/2)

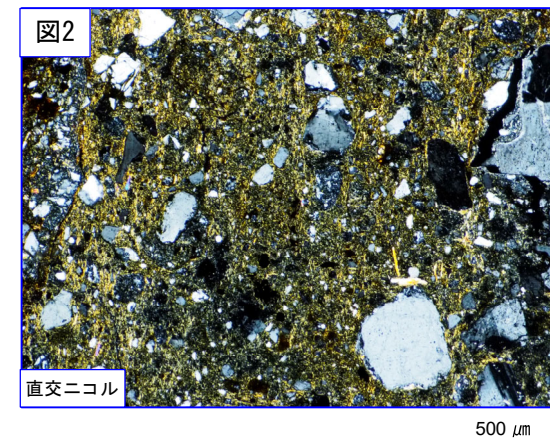
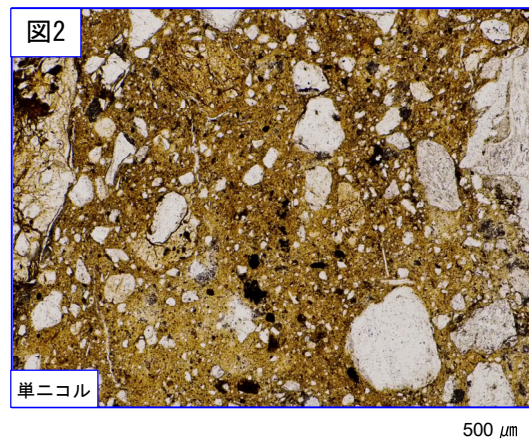
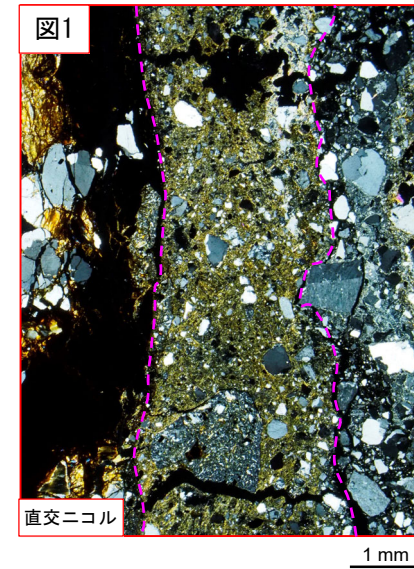
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)



凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト



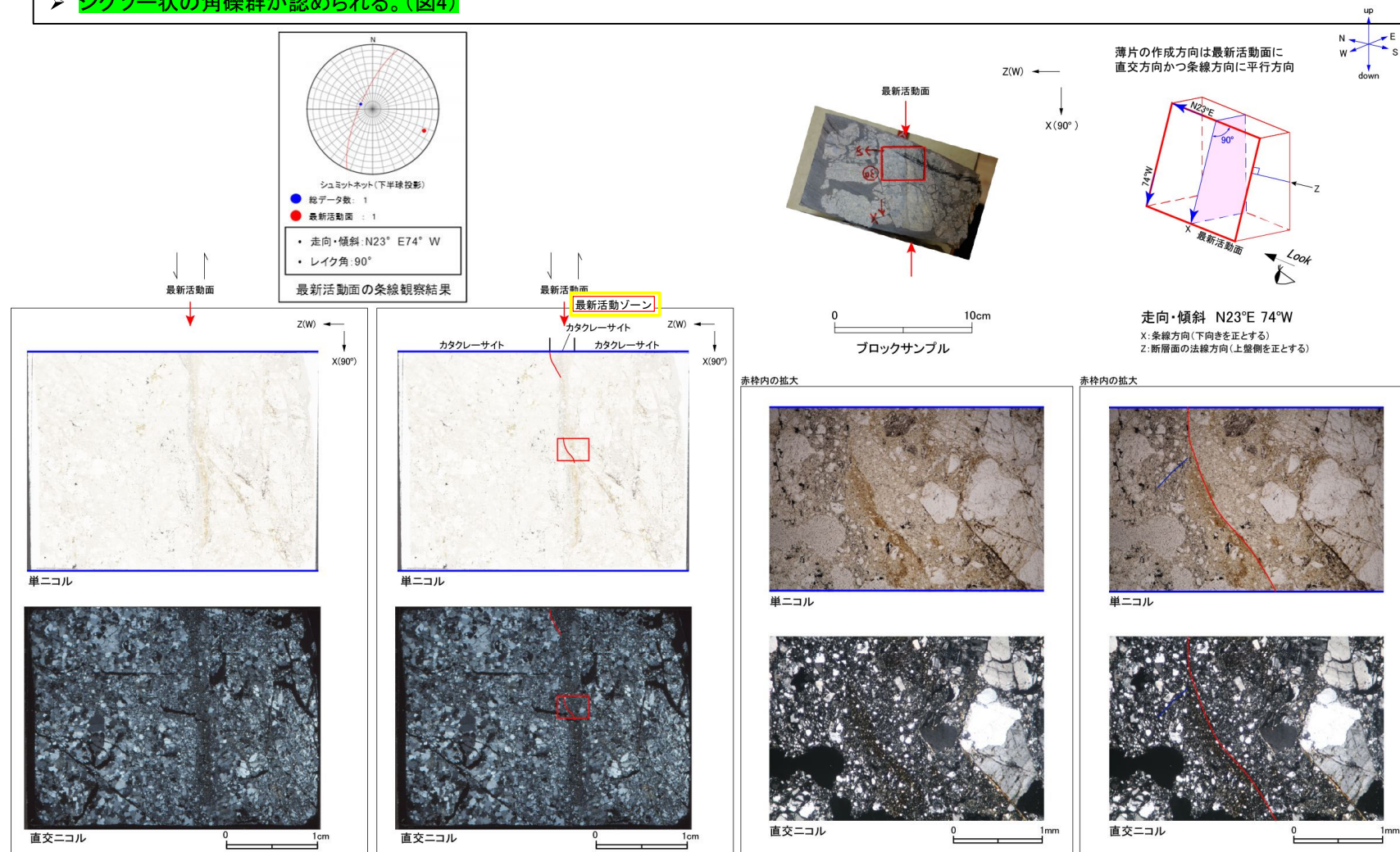
破線は帯状で直線的な範囲を示す。



H27-B-2 深度68.02~68.06m 非モデル化破砕部 (1/3)

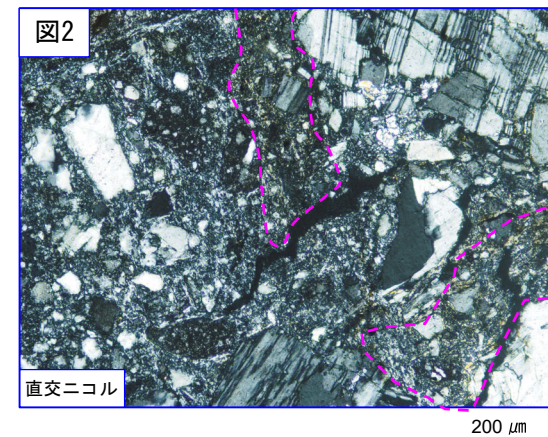
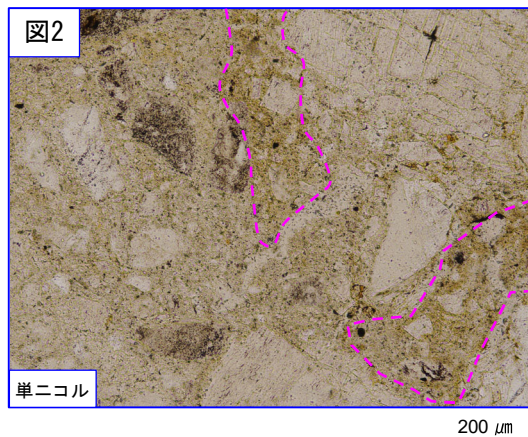
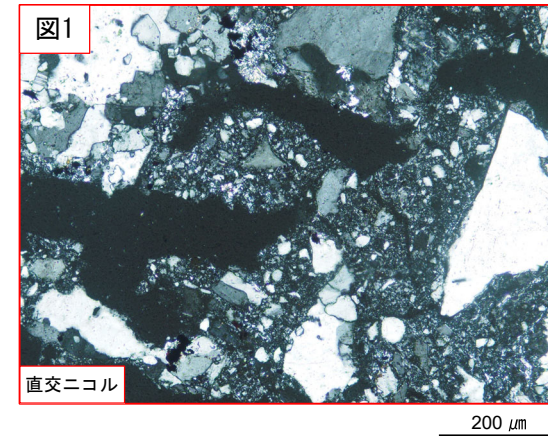
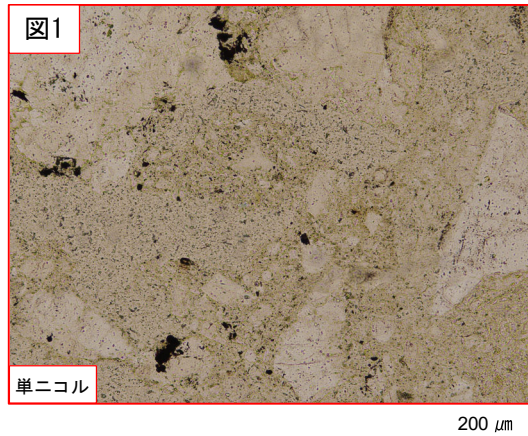
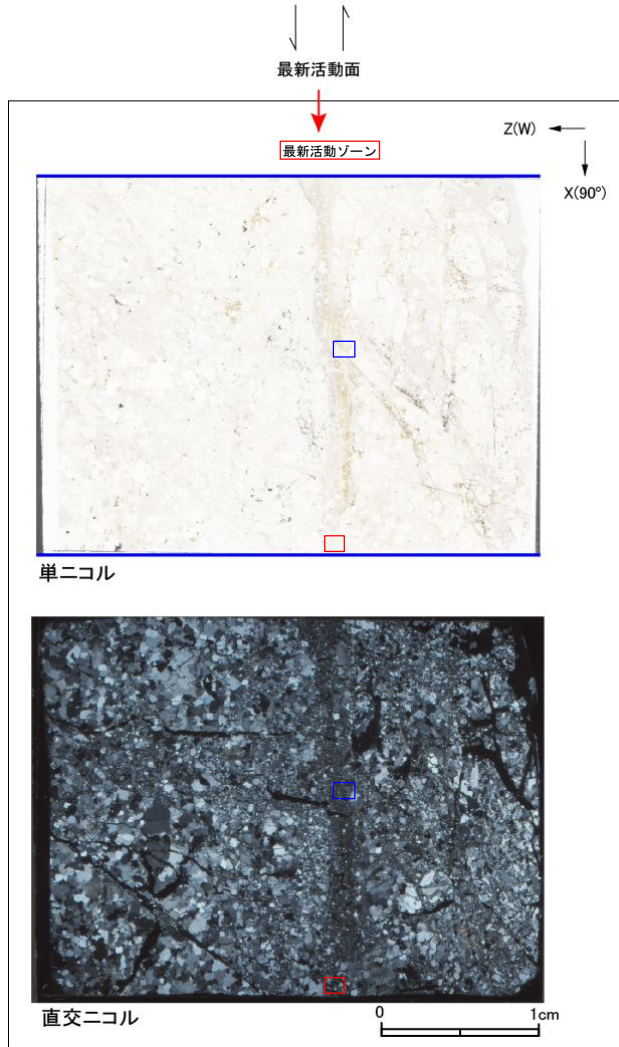
・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度68.05m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区別の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。

- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
- シグソー状の角礫群が認められる。(図4)



H27-B-2 深度68.02~68.06m 非モデル化破碎部 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1, 2)
 - 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。(図2)
 - 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図1, 2)
 - 角ばった岩片が多い。(図1, 2)

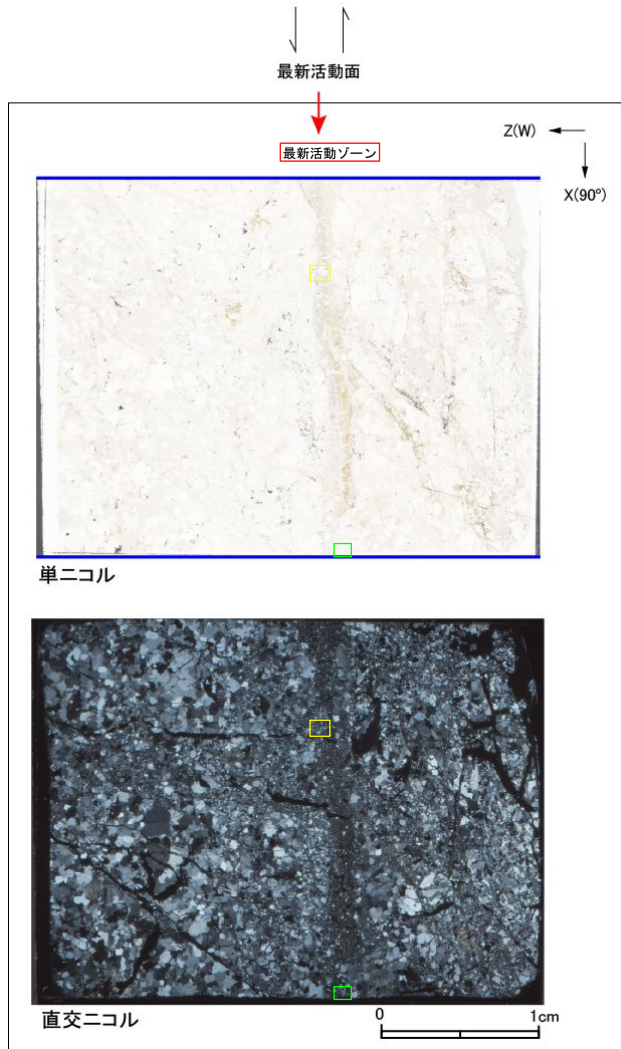


凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト

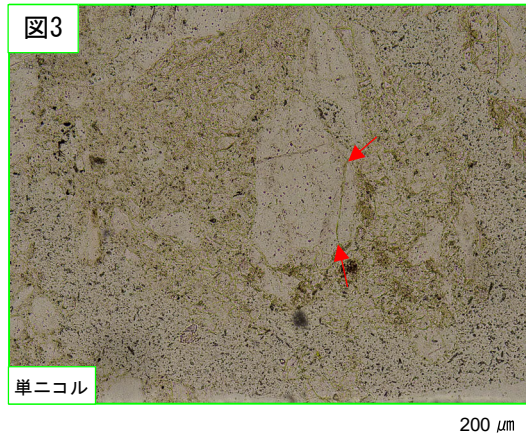
破線は粘土状部の分布範囲を示す。

H27-B-2 深度68.02~68.06m 非モデル化破碎部 (3/3)

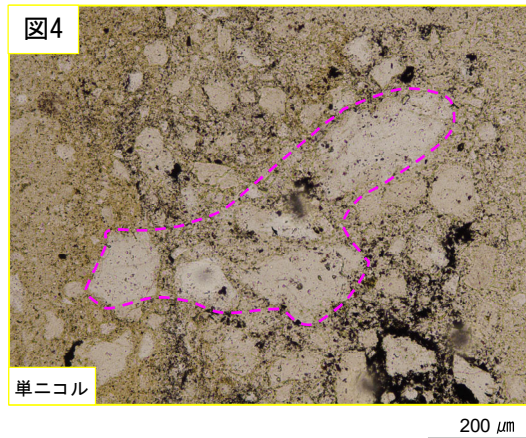
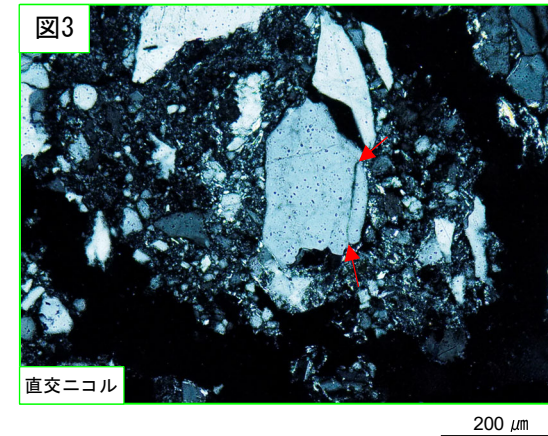
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図4)



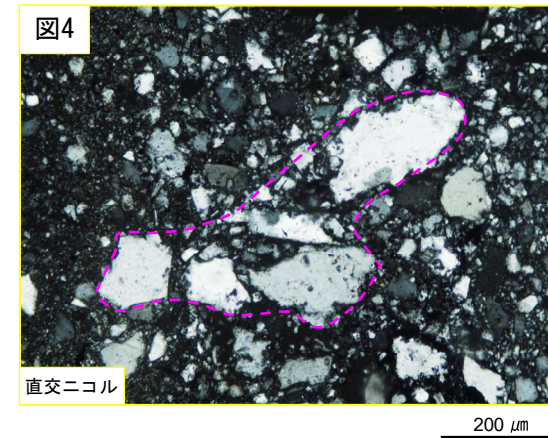
凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト



赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。



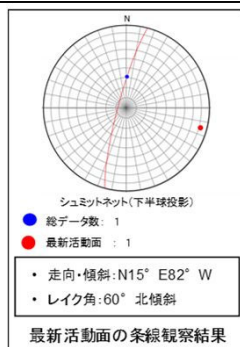
破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。



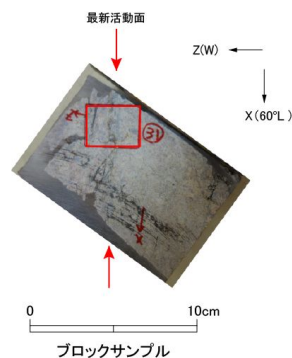
H27-B-2 深度85.58~85.76m 非モデル化破碎部 (1/3)

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度85.63m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。

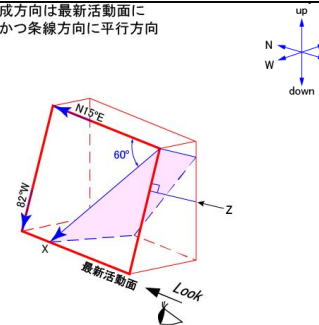
- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- シグソー状の角礫群が認められる。
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



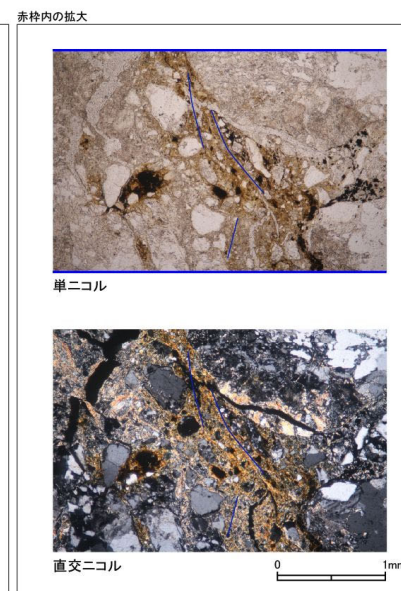
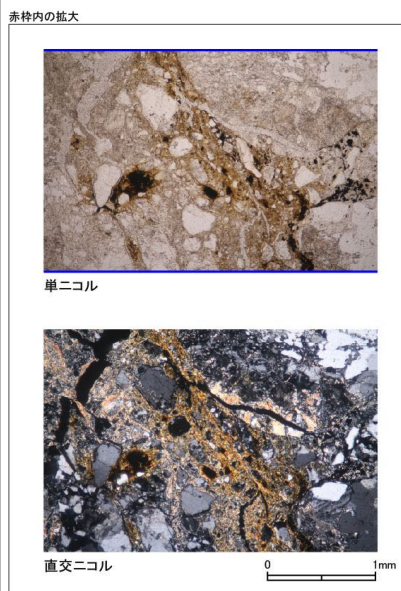
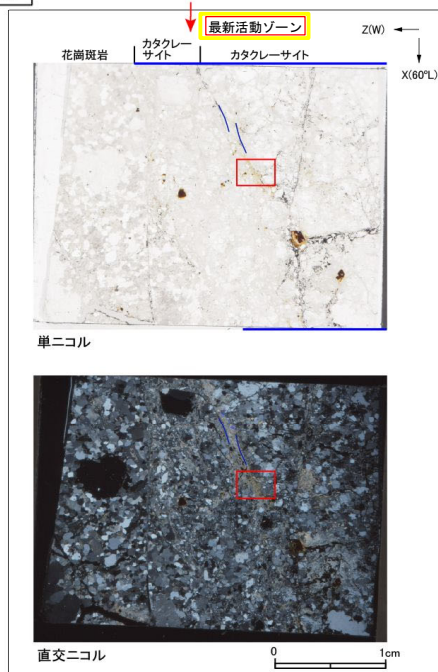
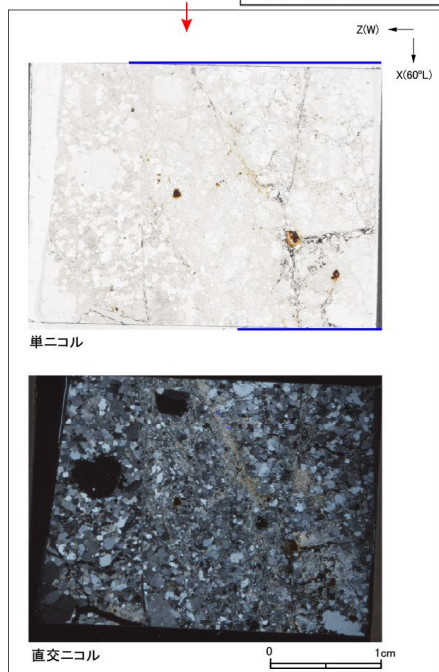
最新活動面の条線観察結果



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



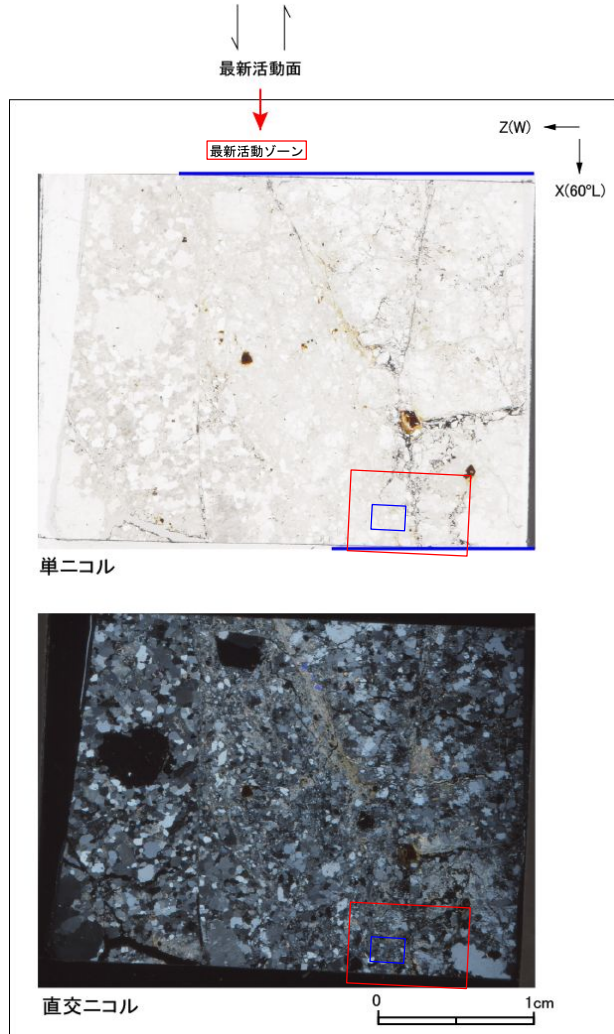
走向・傾斜 N15°E 82°W
 X: 条線方向(下向きを正とする)
 Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



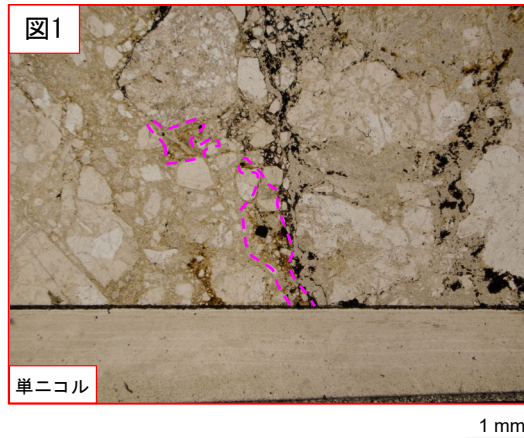
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度85.58~85.76m 非モデル化破碎部 (2/3)

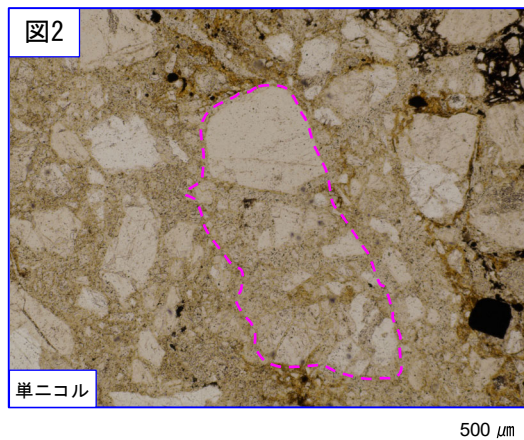
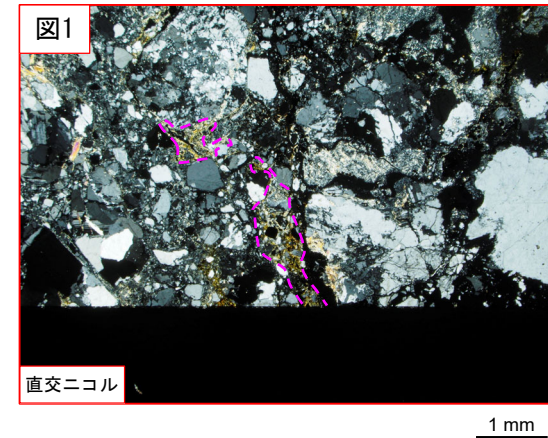
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図1)
 - 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。(図1)
 - 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
 - 角ばった岩片が多い。(図2)
 - ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)



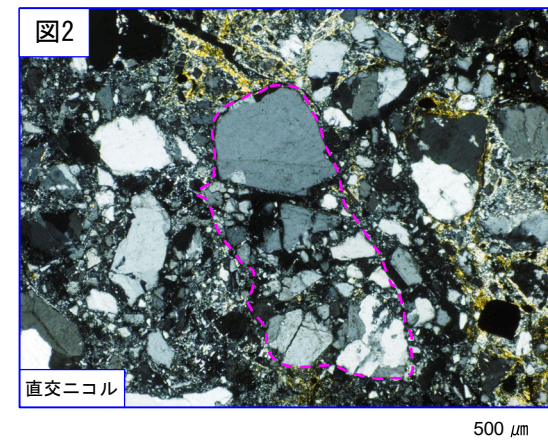
凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト



破線は粘土状部の分布範囲を示す。

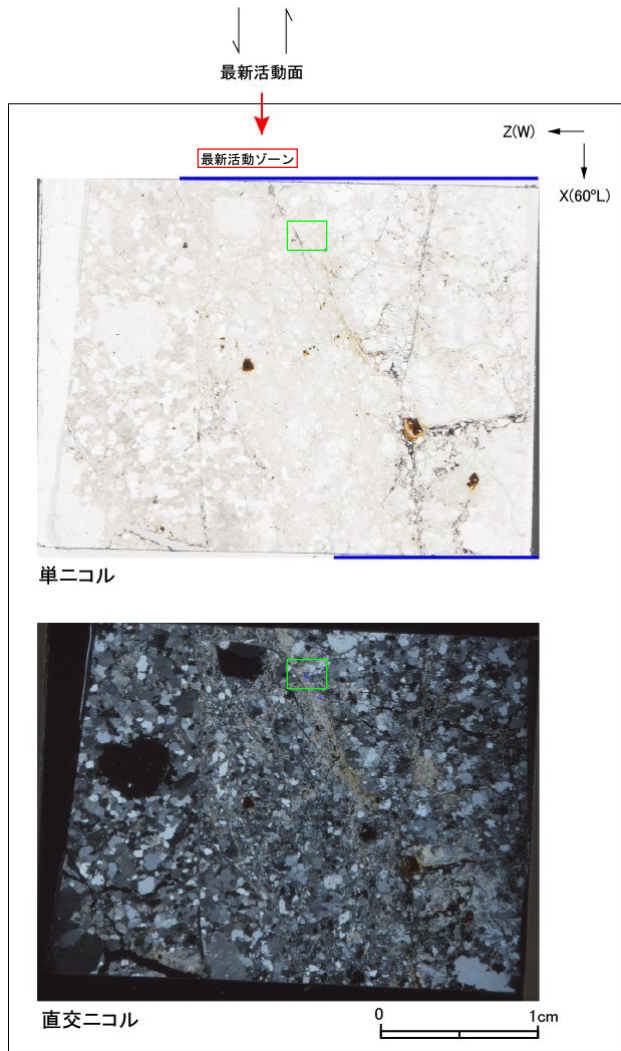


破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。

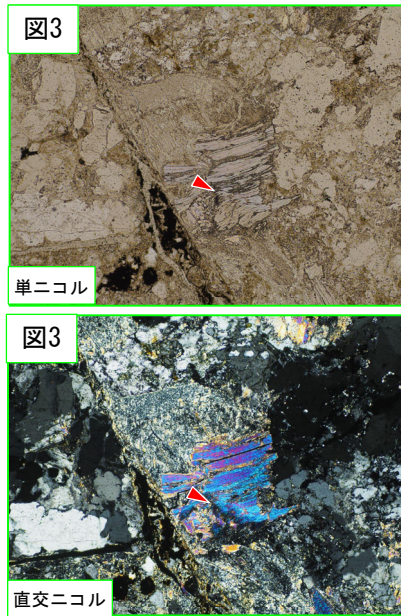


H27-B-2 深度85.58~85.76m 非モデル化破碎部 (3/3)

・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 > 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図3)



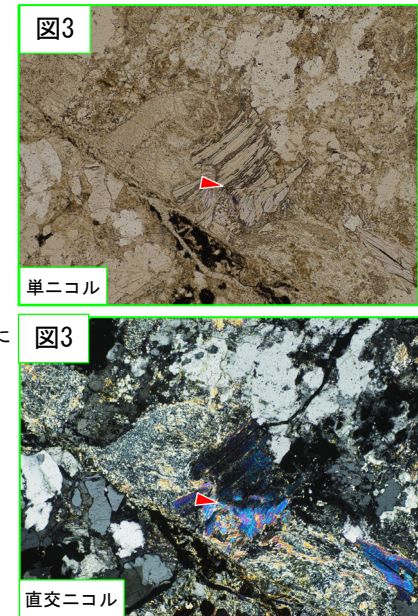
凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト



赤矢印は屈曲箇所を示す。 500 μm



ステージを反時計回りに約25度回転

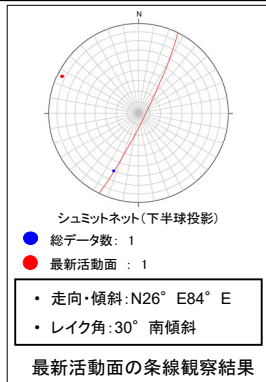


赤矢印は屈曲箇所を示す。 500 μm

H27-B-2 深度88.38~88.43m D-41破碎帯 (1/2)

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度88.43m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。

- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 角ばった岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。

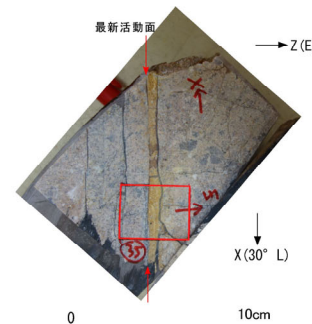


最新活動面

最新活動面の条線観察結果

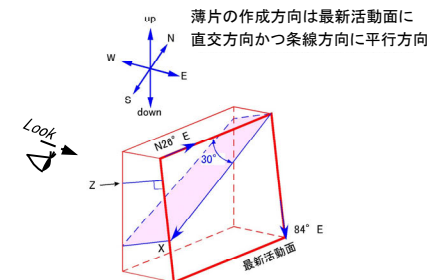
最新活動ゾーン

最新活動面



※切断面に記載されているX方向は誤り

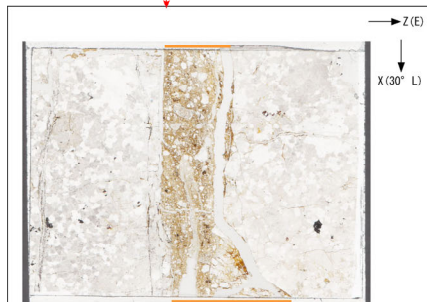
ブロックサンプル



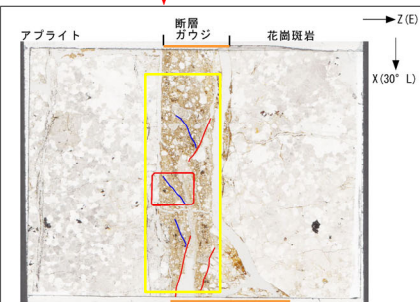
走向・傾斜 N26° E84° E

X: 条線方向(下向きを正とする)

Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

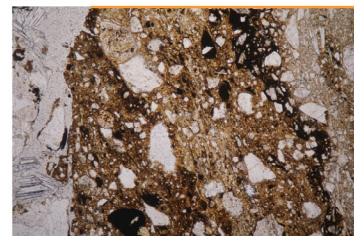


単ニコル



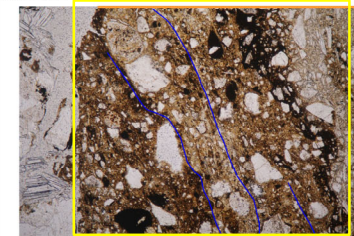
単ニコル

赤枠内の拡大

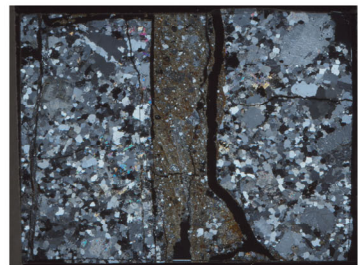


単ニコル

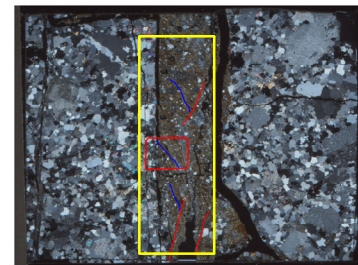
赤枠内の拡大



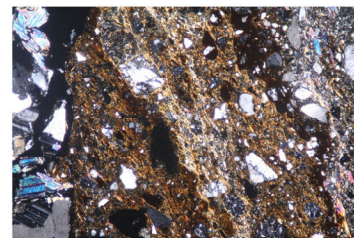
単ニコル



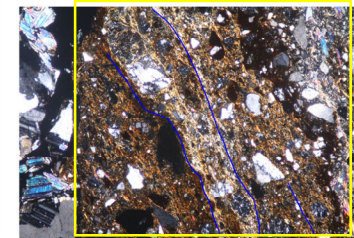
直交ニコル



直交ニコル



直交ニコル

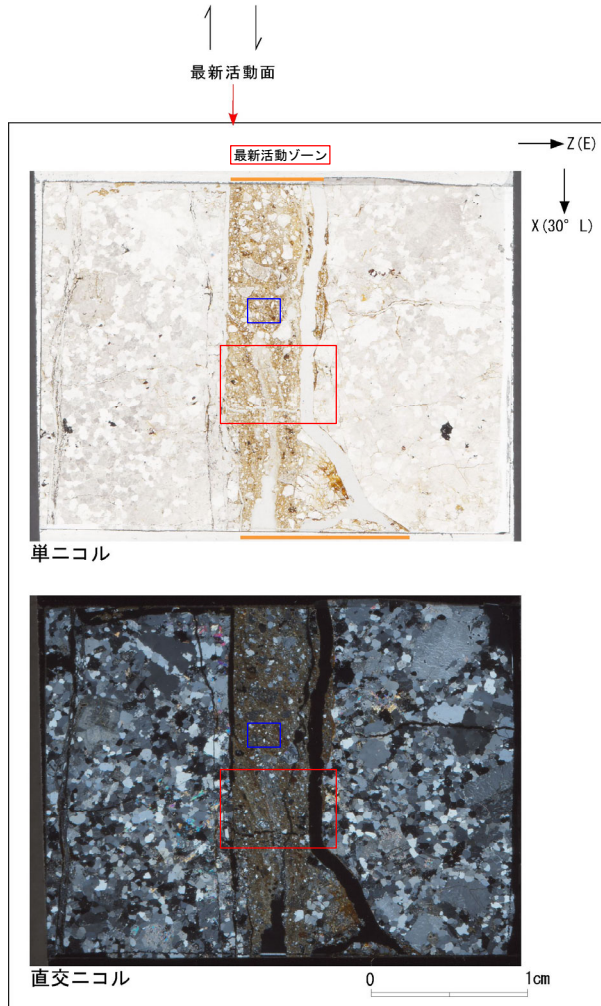


直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレースイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度88.38~88.43m D-41破碎帯 (2/2)

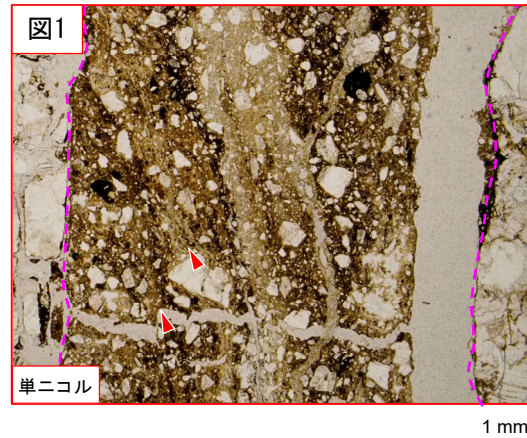
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。(図1)
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図1)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 角ばった岩片が多い。(図2)
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図2)



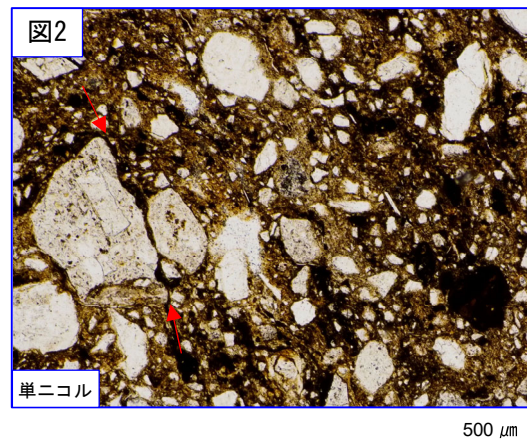
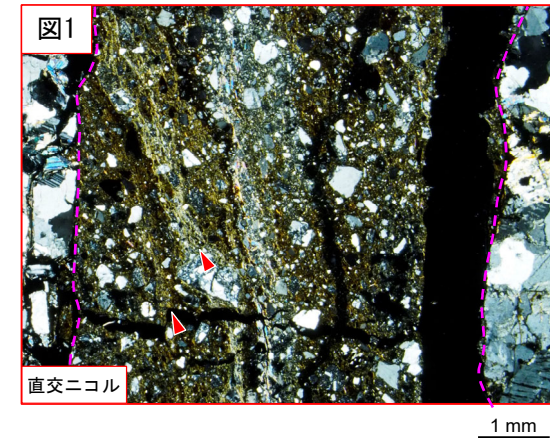
単ニコル

直交ニコル

凡例
 断層ガウジ
 カタクレーサイト



破線は帯状で直線的な範囲を示す。
 赤矢印の方向は粘土鉱物の配列方向を示す。



赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。

